

めまいと高血圧

「とにかく高血圧は、ロフイン。すべてでも血圧を下げなければ、脳出血を起こすかわ。それとも突然死が、とても思うのだからか？」

高血圧症で通院中のN子さん。67歳。何かあるたびにクリニックへ電話をかけた。今日も「今日も、今日も起きれない。上がった。めまいがした。すべて、血圧を計った。いつもより、ずっと高い。めまいは、高血圧のせいではないか。いつもの血圧の薬を、もう1錠追加して飲んでもよいか？」というのである。が、とてつもない。

N子さんのめまいは、周りがグルグル回る回転性のめまいだという。頭を動かした時に起きている。めまいがしたのは、そう長い時間ではななそうだ。めまいに吐き気を伴ったというが、難聴や耳鳴りはない。N子さんのめまいは、耳の病気の「良性発作性頭位めまい」が疑わしいこととなる。

「とにかく、問題の血圧は、クリニックでもえらい高い。ま、心配性の人が、初めてめまいを経験した。びっくりする。不安になる。それだけで、血圧が跳ね上がる理由

は十分だろう。それだけではない。もともと脳幹には、めまいの中枢である前庭神経核のすぐ近くに血圧の中枢があるのだ。めまいがすれば血圧が上がる仕組みになってる。

となれば、その逆に、血圧が上がればめまいがしなくてもある。が、それはない。そして、めまいの患者さんが安易に血圧を下げようとするのは、危険極まりないことなのである。

回転性のめまいは、耳の病気とは限らない。実は、小脳や脳幹の脳梗塞でも、回転性のめまいが起きることもあるのだ。しかも、N子さんのような高齢者で、初めてめまいがしたというひとは要注意。で、脳梗塞の患者さんの血圧を無理に下げればどうなるか？言いつまでもなからう。医者も血圧も上がらさう。

(石黒修三クリニック・脳神)

経外科医：125北國新聞掲載)